

第9次 富山県職業能力開発計画の体系

第1部 総説

計画のねらい

国の第9次計画や県の新総合計画等との整合を図りながら、本県の産業経済を支える人材の育成・確保と県民の個々の特性に合った能力開発の基本的方向性を示す。

計画の期間

平成23年度から平成27年度までの5年間

第2部 職業能力開発を取り巻く現状と課題

社会経済の潮流

- 人口減少・少子高齢化による労働力人口の減少
- 第1次・第2次産業から第3次産業への構造の変化
- 新興国の著しい成長とグローバル化の進展による国際競争の激化
- 価値観、ライフスタイルの多様化による雇用形態の多様化
- 地方分権の進展による国、県の役割分担の明確化

雇用の状況

- 非正規労働者の拡大や求人・求職のミスマッチの存在
- 若者：早期離職率が低下しているが、引き続き定着を促進
- 女性：経済的自立や仕事と子育て両立の支援が必要
- 高齢者：長年培った知識・技能の活用、新たな能力開発が必要
- 障害者：就業に対する意欲の高まりに応じた支援が必要

県内企業における職業能力開発の状況

- 世界的な金融・経済危機が機械関連の製造業を中心に影響し、競争が一段と激化
- 「多能工」、「技術的技能者」、「高度熟練技能者」の高いニーズ
- 「一般常識・マナー」、「コミュニケーション能力」等の能力の不足が指摘
- 企業における職業能力開発の厳しい現状（「計画的OJT」の実施事業所は2割程度）

職業能力開発の推進体制の状況

- 国と県において公共職業能力開発施設を設置
- 専門学校や民間の教育機関における様々な教育訓練の実施、県による委託訓練の大幅な拡充
- 十分な能力開発ができない企業に対しては、県や国の支援が必要

第3部 職業能力開発施策の実施目標

1 高度・先端的なものづくり分野の人材育成

【基本方向】

今後ますます激化する国際競争を勝ち抜くため、高度・先端的なものづくり分野の人材を育成するとともに、将来のものづくり産業を担う人材を育成する。

2 産業構造の変化に柔軟に対応する人材育成

【基本方向】

今後の成長分野や高付加価値の産業分野等への労働移動が円滑に行われるよう必要な支援に努めるとともに、介護・福祉、観光、農林水産など、新たな地域の課題を解決し、今後の高い雇用吸収力が見込まれる分野の人材を育成する。

3 職業生涯を通じたキャリア形成支援の充実

【基本方向】

県民一人ひとりが職業生涯を通じて労働に参加し、それぞれのライフステージに応じて、その能力を十分に発揮していけるような、きめ細かなキャリア形成支援を充実する。

4 雇用のセーフティネットとしての職業能力開発（離職者訓練）の推進

【基本方向】

雇用失業情勢の変化に対し、離職者のための多様で質の高い職業訓練の機会を機動的に確保・提供するとともに、きめ細かな就職支援を行う。

5 技能の振興・ものづくりを支える機運の醸成

【基本方向】

技能や技能者に対する社会的評価の向上や技能者が意欲的に技能向上に取り組む環境を整備するとともに、次代を担う若者が進んで技能労働者をめざす機運を醸成する。

6 職業能力開発の推進体制の整備

【基本方向】

国、県をはじめ、能力開発に携わる関係機関との役割分担と連携の促進を図り、効率的・効果的な取り組みに努めるとともに、多様化・高度化する人材ニーズを踏まえ、県の行う職業能力開発を充実する。

第4部 職業能力開発の基本的施策と展開

【基本的施策】

- 先端的なものづくり分野の人材育成
- ものづくりの高度化のための人材育成
- 高度熟練技能の継承・熟練技能者の育成
- 将来のものづくり産業を担う人材の育成

【目標指標】

- 若い研究者を育てる会の共同研究に参加した企業の研究者数

H18	H22	H27
77人	112人	150人

- 能力開発セミナーの受講者数

H18	H22	H27
706人	1,553人	1,800人
レディメイド 706人	レディメイド 458人	レディメイド 300人
オーダーメイド -	オーダーメイド 1,095人	オーダーメイド 1,500人

- 県立学校全日制工業科高校生のインターンシップ体験率

H18	H22	H27
体験者数 589人	体験者数 989人	体験者数 1,025人
体験率 51.3%	体験率 96.5%	体験率 現状維持

【基本的施策】

- 円滑な労働移動のための人材育成
- 高い雇用吸収力が見込まれる分野の人材育成

【目標指標】

- 県内ニーズを把握しながら、今後、必要に応じて設定。

【目標指標】

- 高校生のインターンシップの推進

H18	H22	H27
体験者数 3,599人	体験者数 4,576人	体験者数 4,900人
体験率 47.0%	体験率 66.6%	体験率 70%

- 大学生等のインターンシップの参加学生数

H18	H22	H27
714人	917人	1,100人

- 富山県若者サポートステーションでの通所型ジョブトレーニング参加者の就職率

H18	H22	H27
21.4%	19.2%	25.0%

【基本的施策】

- 学校教育段階からのキャリア教育の充実
- 若年者の職業能力開発の促進
- 企業の在職者に対する体系的な職業能力開発への支援
- 高齢者の職業能力開発や再就職支援
- 特別な支援を要する者の職業能力開発の推進と就職支援

- デュアルシステム訓練の受講者数

H18	H22	H27
23人	57人	100人
施設内訓練 5人	施設内訓練 13人	施設内訓練 20人
委託訓練 18人	委託訓練 44人	委託訓練 80人

- 障害者の職業訓練の受講者数

H18	H22	H27
20人	50人	75人

【基本的施策】

- 雇用情勢の変化に迅速・柔軟に対応する職業訓練の実施
- 求人ニーズや労働市場の情勢を踏まえた職業訓練の機会の提供と就職支援

【目標指標】

- 離転職者の職業訓練生の就職率

H18	H22	H27
施設内訓練 74.3%	施設内訓練 71.5%	施設内訓練 80%以上
委託訓練 76.8%	委託訓練 68.1%	委託訓練 70%以上

【基本的施策】

- 技能振興、技能労働者の地位向上のための環境整備
- 技能者が意欲的に技能向上に取り組むための環境整備
- 若者のものづくりマインドの醸成

【目標指標】

- 技能検定の合格者数及び合格率（基礎級を除く）

H18	H22	H27
合格者数 1,738人	合格者数 1,443人	合格者数 1,500人
合格率 42.9%	合格率 44.1%	合格率 50%以上

- 技能五輪の参加者数及び上位入賞者数

H18	H22	H27
参加者数 5人	参加者数 5人	参加者数 10人
上位入賞者 3位1人	上位入賞者 2位1人	上位入賞者 優勝

【基本的施策】

- 県が行う職業能力開発の向上・改善
- 国、県、市町村、民間及び産業界の連携の促進
- 企業の職業能力開発力向上への支援

【目標指標】

- 職業能力開発推進者の選任数及び選任率

H18	H22	H27
1,531人	1,736人	2,000人
100人以上の事業所 318人	100人以上の事業所 356人	100人以上の事業所 400人
選任率 53.4%	選任率 58.0%	選任率 65.0%